

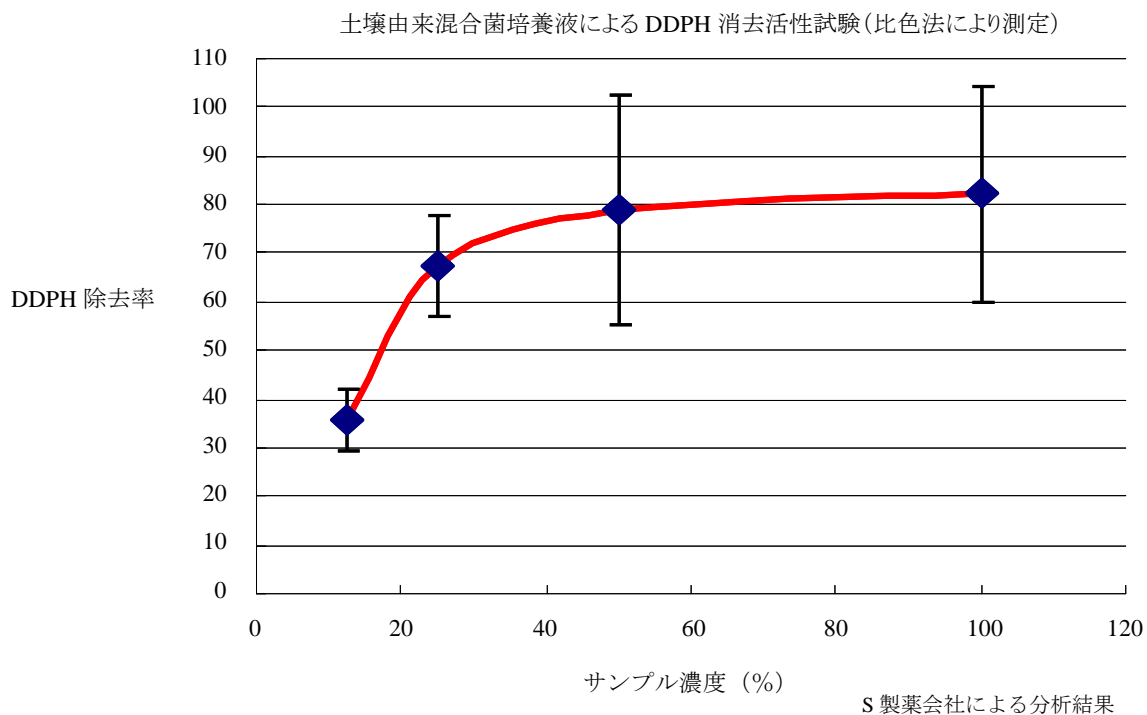
## DPPH ラジカル消去活性試験

### <試験方法と内容>

DPPH とは安定なラジカル(\*)である。この DPPH を用いてラジカルと土壌由来混合菌培養液との反応性をラジカルの減少量や減少速度から求めることが、DPPH ラジカル消去能活性試験である。この試験において、DPPH 除去率は抗酸化作用を示す指標となる。

### <結果>

土壌由来混合菌培養液は、濃度依存的に DPPH 消去活性を高めることが確認された。原液を用いた際には 82.25%、20%の濃度に希釈した場合でも 67.48%という DPPH 消去活性を示した。



### (\*)ラジカルとは

ラジカルとは酸化反応を促進する因子である。体内ではエネルギーが作られるときや、体に紫外線が当たったときなどに発生し、周囲の物質を酸化、変性させる。活性酸素もラジカルの一部である。生活習慣病、糖尿病、アトピー、アレルギーなどに代表される現代病の原因になると考えられている。